

平成29年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
環境指導法				演習		高沢 貞子	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	2年	1	30	15	前期	必修	
[授業の目的・ねらい]							
<p>○乳幼児の感性をはぐくむ保育環境を学ぶとともに、自らの生活の中で環境を意識し五感を研ぎ澄ますよう努める。</p> <p>○保育の専門性に基づく環境構成の知識と技術を理解する。</p>							
[授業全体の内容と概要]							
<p>○環境構成の必要性と基礎理論を学ぶ。</p> <p>○乳幼児期の遊び・発達・生活における環境構成の知識と技術を習得する。</p>							
[受講上の注意事項]							
意欲的に授業に取り組み、発言等積極的に行う。							
[使用テキスト]				[評価基準]			
エイデル研究所 環境構成の理論と実践				試験・課題・授業態度(意欲積極性)を総合的に。			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項 目			授 業 内 容			
1	環境の基礎知識(1)			環境構成の定義と 領域「環境」を学ぶ。			
2	環境の基礎知識(2)			保育の展開プロセスと環境構成、環境の要素を理解する。			
3	生活と環境			生活場面での環境、生命の保持と情緒の安定からの環境を考える。			
4	遊びと環境(1)			自然体験の意義を理解する。			
5	遊びと環境(2)			ネイチャーゲームを体験する。			
6	遊びと環境(3)			五感を使って泥団子制作に取り組む。			
7	遊びと環境(4)			身近な小動物を探す。飼育可能な小動物についての知識を得る。			
8	子どもの発達と環境構成(1)			子どもの姿から環境を構成する方法を考察する。			
9	子どもの発達と環境構成(2)			年齢別に環境構成を考える。(乳児)			
10	子どもの発達と環境構成(3)			年齢別に環境構成を考える。(幼児)			
11	遊びと環境(5)			身近な自然物を利用しての製作を考案する。。			
12	遊びと環境(6)			身近な自然物を利用して作品を制作する。			

13	自然生態系と環境問題	自然のしくみを学び、自然と生活とのつながりを考察する。
14	感性を育む保育環境	環境心理学から学ぶ環境構成の知識を習得する。
15	まとめ、評価	学んだことの確認。試験。